

現代②「平成・令和時代」

新たな時代の日本と世界 **A**

🕒 7分

1. 右の略年表を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 下線あ^あのころの日本経済について述べた文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 軽工業に続き、重工業で産業革命が進行した。

イ はじめて輸出が輸入を上回り、成金が出現した。

ウ 軍需物資などの注文を受け、経済復興が早まった。

エ 株や土地の価格が、実際の価値とかけ離れ、異常に高くなった。

年代	できごと
1950	<u>あ</u> 朝鮮戦争がおこる。
1950年代後半	<u>い</u> 高度経済成長が始まる。
1960	(う) が改定される。
1965	アメリカが北ベトナムを爆撃する。…A
1968	(え) が日本に返還される。
1973	第四次中東戦争がおこる。……………B
1979	ソ連がアフガニスタンに侵攻する。…C
1980年ごろ	貿易摩擦が大きな問題となる。……………D
1989	<u>お</u> 米ソの首脳が冷戦の終結を宣言する。
1991	<u>か</u> ユーゴスラビア紛争がおこる。 <u>き</u> ソビエト連邦が解体される。

[1]

(2) 下線い^いについて、次の問いに答えなさい。

① 1960年に国民の所得倍増計画を打ち出した首相の名を答えなさい。

[2]

② 日本の高度経済成長が終わったのは、どのできごとに関係しているか。最も関係の深いできごとを年表中のA～Dから1つ選び、記号で答えなさい。

[3]

(3) (う) には、日本にアメリカ軍基地を置くことを認めた条約があてはまる。この条約の名を答えなさい。

[4]

(4) (え) にあてはまる地名として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 小笠原諸島 イ 沖縄 ウ 国後島 エ 伊豆諸島

[5]

次ページにつづく▶▶▶

(5) 下線おについて、次の問いに答えなさい。

① このときのアメリカとソ連の代表を次から1人ずつ選び、記号で答えなさい。

- ア ルーズベルト イ ゴルバチョフ ウ ネルー
 エ オバマ オ スターリン カ ブッシュ

アメリカ	[6]	ソ連	[7]
------	-----	----	-----

② アメリカとソ連の代表は、地中海の（ ）島沖の船上で会談を行い、冷戦の終結を宣言した。この歴史的なできごとは（ ）会談といわれる。（ ）に共通してあてはまる地名をカタカナで答えなさい。

[8]

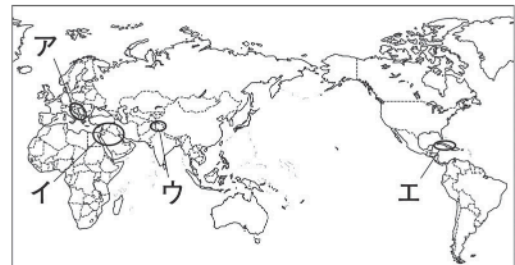
③ 右の図は、冷戦の終結に関係の深いできごとのようすを表している。どのようなできごとか、「冷戦の象徴」の語句を用いて簡単に答えなさい。



[9]

(6) 下線かがおこった地域として最も適当なものを右の略地図中から1つ選び、記号で答えなさい。

[10]



(7) 下線きののち、国際連合安全保障理事会の常任理事国の地位を引き継いだ国の名を答えなさい。

[11]
